

○藤田和久・高山智光・西村範夫

トリコデルマ菌およびペニシリウム菌の選択培地

Fujita, K., Takayama, T., Nishimura, N. : Selective Media for *Trichoderma* and *Penicillium*.

消毒後のハウス土壌で *Trichoderma* 菌および *Penicillium* 菌を用いサラダナ根腐病の生物防除試験を行っている。本研究では、それらの菌を土壌から検出するための選択培地を作成した。*Trichoderma* 菌用半合成選択培地の組成は、ジャガイモ煎汁液 1000ml, L-(-)-ソルボース 20g, ローズベンガル 30mg, クロラムフェニコール 0.25g, 寒天 20g, 加圧蒸気滅菌後, トルクロフォスメチル水和剤 50mg, 40%メパニピリム水和剤 0.05ml, pH6.8 である。*Penicillium* 菌用合成選択培地の組成は、蒸留水 1000ml, リン酸一カリウム 1g, 塩化カリウム 0.5g, 硫酸マグネシウム・7水和物 0.5g, クエン酸水素二アンモニウム 2g, ホウ酸 0.5g, 所定の微量元素液 0.2ml, クロラムフェニコール 0.25g, 寒天 20g, 加圧蒸気殺菌後, L-(-)-ソルボース 20g, 安息香酸ナトリウム 50mg, 25%イミノクタジン三酢酸塩液剤 0.05ml, pH3.5 である。作製した培地上で 25℃, 7~10 日培養した結果, 両菌のコロニーは容易に識別できた。クロラムフェニコール加用 PDA 培地と比較し回収率は両培地とも 70~100%であった。

(九州沖縄農研)

表 トリコデルマ菌およびペニシリウム菌用選択培地の組成

	<i>Trichoderma</i> 用	<i>Penicillium</i> 用
蒸留水	-	1000ml
ジャガイモ煎汁液	1000ml	-
L-ソルボース	20g	-
ローズベンガル	30mg	-
リン酸一カリウム	-	1g
塩化カリウム	-	0.5g
硫酸マグネシウム・7水和物	-	0.5g
クエン酸水素二アンモニウム	-	2g
ホウ酸	-	0.5g
微量元素液	-	0.2ml
クロラムフェニコール	0.25g	0.25g
寒天	20g	20g
(以下は滅菌後に添加)		
L-ソルボース	-	20g
安息香酸ナトリウム	-	50mg
25%イミノクタジン三酢酸塩液剤	-	0.05ml
トルクロフォスメチル水和剤	50mg	-
メパニピリム水和剤	0.05ml	-

注1) 微量元素液は、蒸留水95mlにクエン酸5g、硫酸第一鉄5g、硫酸亜鉛7水和物1g、硫酸銅5g、硫酸マンガン(2)5水和物0.05g、モリブデン酸ナトリウム0.05gを加え、滅菌後4℃で保存する。

注2) *Penicillium* 用選択培地については、滅菌後培地温を55℃に下げてから10%リン酸を加えてpH3.5に調整する。

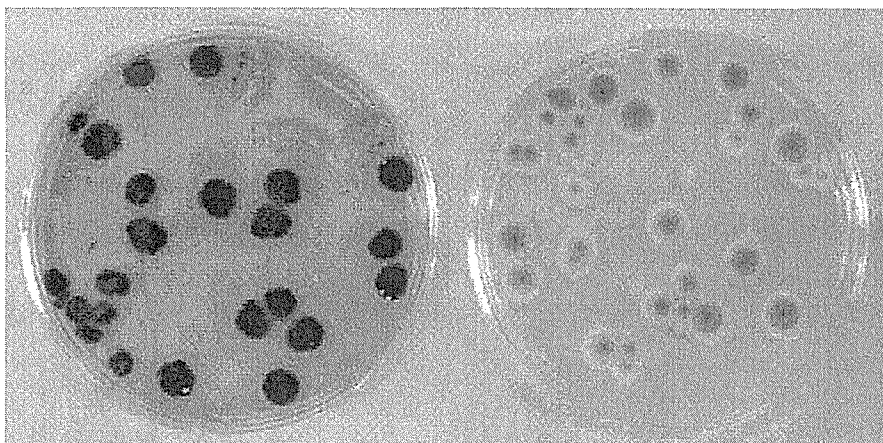


図 選択培地上の *Trichoderma* 菌のコロニー(左)、*Penicillium* 菌のコロニー(右)